



小田小だよ！

令和元年 7月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校

「 One for all, All for one 」

～ 一人はみんなのために みんなは一人のために ～

副校長 熊谷 真理子

2019年9月20日から11月2日にかけて、ラグビーワールドカップが日本で開催されます。初戦は調布の東京スタジアムで日本対ロシアの試合です。日本はプールA、アイルランドやスコットランド、ロシア、サモアと対戦します。プールDまでグループがあり、決勝戦は11月2日、港北区にある横浜国際総合競技場で行われるのです。そのため、各地では様々なイベントが行われ、少しずつラグビーワールドカップが盛り上がってきています。先日、学校にもラグビーボールが届きました。

ラグビーは、15人のメンバーで試合を行います。その15人はそれぞれポジションが決まっています。大きくフォワード（FW）と呼ばれる8人と、バックス（BK）と呼ばれる7人に分けられます。また、このフォワード、バックス、それぞれ、更にポジションによって役割が異なります。

スクラムを組む8人がフォワードです。またラインアウトもフォワード同士が集まって行います。このフォワードは、「フロントロー」「セカンドロー」「バックロー」と、大きく3つに分けられます。「フロントロー」（背番号1～3番）は、スクラムの最前列で支えます。「セカンドロー」（背番号4・5番）は、スクラムの2列目でフロントローを支えます。最後尾でスクラムを支えると共にフィールドプレーも活躍するのが「バックロー」（背番号6～8番）です。

バックスも、更に大きく「ハーフバックス」「スリークォーターバックス」「フルバック」に分けられます。「ハーフバックス」（背番号9・10番）は、司令塔としてパスやキックを中心に試合をコントロールします。「スリークォーターバックス」（背番号11～14番）は、オフense・ディフェンス両面で基点となるようなプレイが求められます。背番号15番は、15人の最後尾で全体に見渡す「フルバック」です。

ラグビーには、「One for all, All for one」という言葉があります。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉です。ラグビーは、それぞれのポジションごとに役割があり、体格もスキルもパワーもそれぞれ違う15人が、一つの目的（トライ）に向かって全員が取り組んでいくスポーツです。試合中、互いに仲間を信頼して、互いにリスペクトし、フォローし合ってトライを目指していくのです。

学校にも様々な役割、立場の人がいます。私たちも互いの仲間を尊重し、フォローし合い、同じベクトルで目標に向かって仕事を進めているところです。教育課程全体で育成を目指す資質・能力を捉え、小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」を小・中学校で共有し、「元気 友達 笑顔 いっぱい 小田小学校」を学校教育目標に掲げ、子どもたちのよりよい成長のため、私たちは「チーム小田」で力を合わせて取り組んでいきます。これからも引き続き、温かいまなざしで見守っていただけると幸いです。